

大府市制 55 周年記念プレ事業・企画展「宮沢賢治と音楽」を開催! 賢治愛用のチェロを高精細 3 D 画像で再現しました

大府市は、令和7年9月に迎える大府市制55周年のプレ事業として、童話作家の宮沢 賢治が約100年前に使用していた楽器を展示する企画展「宮沢賢治と音楽」を開催します。 賢治が愛用する楽器が鈴木バイオリン社製であった縁から、現在本社工房を構える大府市 での開催が決定しました。

宮澤家で長く保存されてきた3台の楽器は、鈴木バイオリン製造㈱で修理され、<u>修理の</u>過程で、1台のビオラには賢治の親友と推測される人物の記名プレートが確認され、今回初披露します。また、岩手県花巻市の宮沢賢治記念館にある賢治愛用のチェロは、高精細撮影を行い、3D画像で再現します。楽器内部に記された賢治直筆サインなどの貴重な資料を鑑賞して、宮沢賢治と音楽の世界をお楽しみいただきます。

■企画展「宮沢賢治と音楽」の概要

期間/令和7年1月25日(土)~5月18日(日) 午前9時~午後6時(最終入場30分前) 場所/大府市歴史民俗資料館(大府市桃山町5-180-1) 資料/腎治購入楽器

> (鈴木バイオリン製バイオリン1台,ビオラ2台※) 賢治愛用チェロ高精細画像展示、直筆譜面 原稿(複製)、雨ニモマケズ手帳(複製)、遺書(複製) 高畑勲原画「セロ弾きのゴーシュ」等



※写真: ビオラの修理中に発見されたプレート

ビオラのネック渦巻部に直径 1.5 学の黒色円形プレートが取り付けられています。肉眼では確認困難ですが「K.NY Hujiwara」の表記があり、この名前は賢治の親友であった藤原嘉藤治のことではないかと推測しています。

■企画展「宮沢賢治と音楽」報道関係者向け内覧会の概要

日時/令和7年1月24日(金)午後2時30分~3時30分場所/大府市歴史民俗資料館(大府市桃山町5-180-1)

その他/宮沢賢治の実弟の孫で、この企画展へ楽器などの資料を提供した宮澤和樹さん が出席します。



■企画展「宮沢賢治と音楽」に関連して行う各事業

①ナイトライブラリー 朗読&SUZUKI カルテット弦楽四重奏 賢治購入のバイオリン使用

日時/令和7年1月20日(月)午後6時~午後7時30分会場/おおぶ文化交流の杜図書館(大府市柊山町6-150-1)内容/SUZUKIカルテットの演奏とアナウンサーによる朗読定員/80人 ※受付終了

②記念講演会

日時/令和7年1月25日(土)午後2時~ 会場/おおぶ文化交流の杜図書館(大府市柊山町6-150-1) 内容/賢治の実弟の孫・宮澤和樹さんが賢治にまつわる逸話などを講演します。 定員/80人 ※受付終了

③高畑勲監督作品「セロ弾きのゴーシュ」上映会

日時/令和7年3月1日(土)午前10時~、正午~、午後2時~、午後4時~会場/大府市歴史民俗資料館(大府市桃山町5-180-1)料金/無料

申込/不要・直接会場へ

■参考資料 宮沢賢治愛用チェロ 高精細 3 D 画像再現資料 企画展「宮沢賢治と音楽」チラシ

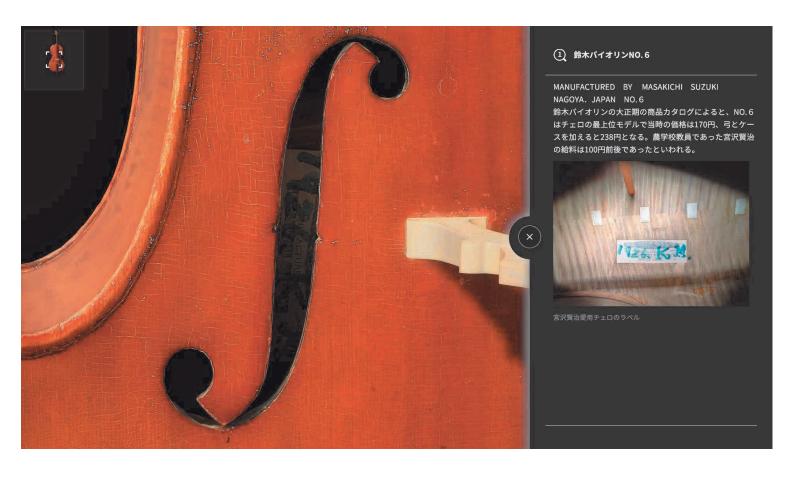
【問い合わせ先】

大府市文化スポーツ交流課 歴史民俗資料館

担当:内藤尚美(ナイトウ ナオミ)、水谷理耶子(ミズタニ リヤコ)

電話:0562-48-1809 FAX:0562-44-0033 メール:rekimin@city.obu.lg.jp







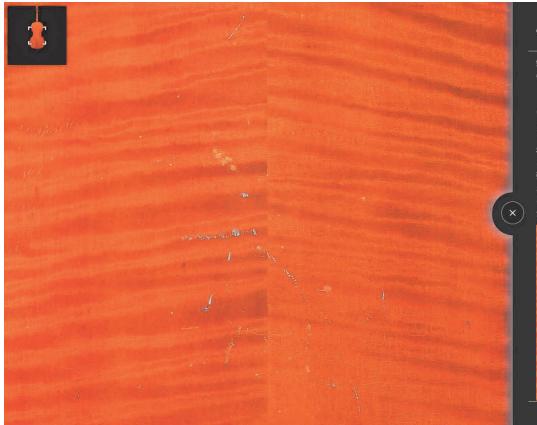
② 1926年 K.M.

賢治によって書かれたと思われる購入年と自身のイニシャル。

手書きの文字の下にメーカー名などが透けて見え、Mに 続くピリオドはラベルからはみ出している。水彩絵の具 と思われる彩色材料を細筆に付け、チェロ胴体の f 字孔 から差し入れて書いたと考えられる。



宮沢賢治愛用チェロのラベル



③ 裏板 (うらいた)

鈴木パイオリンは1926年(大正15年)10月、十数個の楽 器を携え渡欧し、著名演奏家たちを訪ね歩いている。

「小生は名古屋市鈴木政吉氏のパイオリン1個試弾せり。 (中略)形委(けいい)は甚だ(はなはだ)美しく、且 つ(かつ)ニスは美しき色を有す。」これは、ウィーン フィル第一コンサートマスターを長年務めたアルノル ド・ロゼー氏が鈴木政吉に贈った賛辞である。当時の会 社パンフレットに掲載され、鈴木政吉が楽器の美しさに もこだわっていたことをうかがわせる。

弦楽器の表板はスプルース(松)、裏板・側板はメープル(楓)で作られ、賢治のチェロの裏板には、高級楽器に見られる虎杢(とらもく)という美しい縞模様の杢目が認められる。





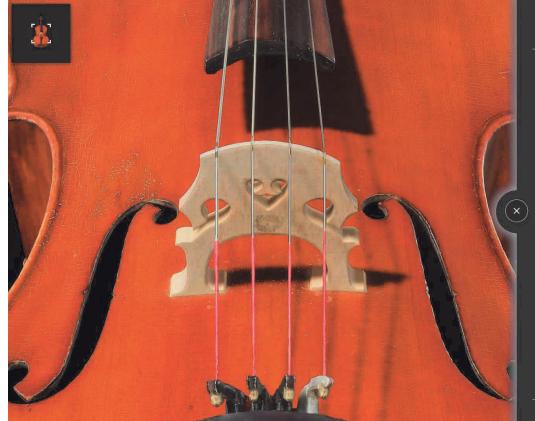
④ エンドピン

エンドピンとは床に立ててチェロを支える棒のことである。賢治が購入した当時(1926年[大正15年])のエンドピンは木製であったが、のちに現代の主流である金属製に置き換えられている。

エンドピンの交換は、宮沢賢治記念館の開館を機に 1970年代に鈴木バイオリンにおいて行われた。 現在の仕様とは異なる70年代の鈴木バイオリン製チェロのエンドピンとエンドピンホールの様子を見ることができる。



修理の施されたエンドピン



⑤ 駒 (こま)

2016~17年 (平成28~29年) 、地元岩手の弦楽器職人の 手でオーバーホールが行われ、二スの補修などとともに 駒の取替えも行われた。賢治のチェロを後世に伝えるた め、その後も定期的なメンテナンスが施されている。 駒(こま)とは、弦を支え振動を表板に伝える部品で、 メーブル(楓)で作られており、楽器の状態や個性に合 わせて形や立て方が調整される。



駒(こま)



日時/令和7年1月25日(土) 14時~ 場所/おおぶ文化交流の杜図書館 アローブギャラリー

講師/宮澤和樹氏(宮沢賢治の実弟の孫)

参加費/無料 定員/80人

申込/令和6年12月2日(月)より先着順 電話 0562-48-1808 (おおぶ文化交流の杜図書館) または図書館一般カウンターへ



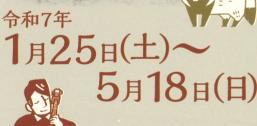
日時/令和7年3月1日(土) 10時~、14時~、16時~

場所/大府市歷史民俗資料館 監督/高畑勲

入場無料、申込不要、直接会場へ



心と音楽





入場無料

55大府市歷史民俗資料館

〒474-0026 愛知県大府市桃山町五丁目180-1 TEL 0562-48-1809 / FAX 0562-44-0033

開館時間:午前9時~午後6時(展示室への入場は閉館の30分前まで)

休 館 日:毎週月曜日(2月3日(月)、2月24日(月)、5月5日(月)は開館)、 2月25日(大)、2月28日(金)、3月28日(金)、4月25日(金)、5月7日(水)

Access



JR東海道本線·武豊線 「大府駅」下車徒歩約10分(大倉公園入口)



国道23号線「共和IC」または 「有松IC」から約20分 知多半島道路「大府東海IC」から約20分



宮沢賢治購入のバイオリン(左)・ビオラ(中・右) 林風舎蔵



雨ニモマケズ手帳 林風舎蔵



シック音楽好きで知られ、自らもチェ 夜」などで知られる宮沢賢治は、クラ 「セロ弾きのゴーシュ」「銀河鉄道の

いました。 地人協会で演奏を楽しんだりして にバイオリンやビオラを購入し羅須 口を弾いたり、教え子や農民らのため

をお楽しみください。 なりました。宮沢賢治と音楽の世界

七と弾きのコーシュ

「セロ弾きのゴーシュ」原稿 宮沢賢治記念館蔵

市において、本展を開催することと 会社が現在本社工房を構える大府 楽器が鈴木バイオリン社製である

宮沢賢治愛用のチェロやゆかりの

ご縁から、鈴木バイオリン製造株式



ミニ企画展

第16回 歴史民俗資料館ひなまつり

会期:令和7年2月1日(土)~3月8日(日) :大府市歷史民俗資料館 常設展示室



愛知県内の博物館・資料館をめぐ る「ひなまつりスタンプ・シール ラリー」を開催。スタンプ・シール を集めた方に景品を用意してい ます。(数量限定・先着順)

て、チェロのみどころや状態をじつ ディスプレイで三次元(3D)デー 撮影しました。大型タッチパネル タを拡大したり、回転させたりし 本展のために岩手県にて高精細



チェロ内部のラベルに書かれた年号と 賢治のイニシャル



賢治が教え子におくった 書簡とレコード 遠野市立博物館蔵



賢治愛用チェロ

主催/大府市歷史民俗資料館

特別協力/ 宮澤和樹

宮沢賢治記念館 遠野市立博物館 タケカワユキヒデ 鈴木バイオリン製造株式会社 協力/ 林風舎